読んで学べるクリアファイル

根室本線の歴史を学ぼう

各駅のお話し

根室本線の歴史

はじめは旭川と釧路をつなぐために工事をはじめました。1913年に滝川と富良野がつながったことで滝川と釧路をつなぐ目的に変わりました。1921年に根室駅までつながり、根室本線という名前になりました。

滝川駅

1898年にできた駅です。2019年に駅前の広場が新しくなり、グライダーがみなさんをお迎えしています。

JRの2つの路線が交わる大きな駅で、通る全部の列車が停まります。

前は滝川駅～釧路駅への日本一運行時間の長い普通列車が走っていました。

赤平駅

1913年にできた駅です。1960年頃は、石炭の採掘が最盛期で、毎日石炭を乗せた列車が赤平駅から全国へと走っていました。

今の駅の形になったのは1999年です。交流センター「みらい」といっしょになったお城のような見た目になっています。

芦別駅

1913年にできた駅です。1940年には鉱山専用の鉄道が走っていました。

今でも敷地内に線路が残っています。

2019年には駅前広場を新しくしています。JRやバス、タクシーが集まる場所になりました。

富良野駅

1900年にできた駅です。駅の横には線路の上を渡る「ポッポブリッジ」があります。そこからの景色はとってもキレイです。

夏にはノロッコ号が走ったり、駅前に花が植えられたりと、季節ごとに景色が変わります。

ドラマ「北の国から」にも登場しています。

幾寅駅

1902年に幾寅駅としてできました。1933年に火事があり、その後建て直しています。

この駅は、映画「鉄道員」に幌舞駅として登場します。駅は映画の撮影に合わせて、少し古い感じに改装しました。今でも、映画ファンが訪れています。

新得駅

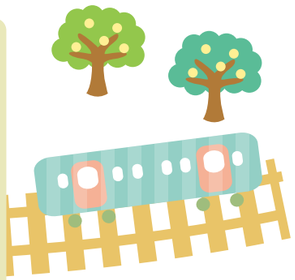
1907年にできた駅です。今の駅は1986年に改築され、洋風な建物になりました。入口の上にある窓にはステンドグラスがはめ込まれています。

駅から15分ほど歩いたところにSL広場があり、蒸気機関車の値段も書いてあります。

占冠駅

1981年にできた駅です。普通列車が停まらないとても珍しい駅です。

札幌から十勝方面への移動時間を短くするためにできた駅です。新夕張駅から占冠駅までの距離は、2014年まで、日本一駅と駅との距離が離れた区間でした。



作成：根室本線対策協議会

乗って学ぼう、行って調べよう!

～みんなで乗ってみようＪＲ根室本線～